

資料 2

行教総第 940 号
平成 30 年 11 月 19 日

行田市公立学校通学区域等審議会会長 様

行田市教育委員会
教育長 鈴木 トミ江



行田市公立学校適正規模・適正配置及び再編成について（諮問）

本市における児童生徒数は、昭和 60 年のピークから、その後の急激な少子化や社会減の影響により現在は半数以下に減少し、小中学校の小規模化が進んでおります。

そのような中、平成 20 年度に策定した「行田市公立学校再編成計画」では、過小規模校での複式学級編制の解消・回避を目指し、一部の小学校において再編成に取り組みましたが、実現に至らなかった経緯があります。

策定から 10 年が経ち、小中学校の小規模化に加え、学校施設の老朽化に伴う更新問題なども生じていることから、全市的な視点で、小中学校の学級数等の規模と配置の適正化や通学区域について、新たに検討することが必要となっております。

つきましては、小中学校の学級数等の規模と配置の適正化に向けて、学校施設の更新時期等を考慮し、小中学校の再編成をどのように進めるべきか諮問いたします。

以上について審議し、平成 31 年 3 月 20 日までに答申願います。